

■会長/加藤明博 ■幹事/川村総一郎

◆司会=五味武嗣 SAA

◆ゲストビクター=本日はいらっしゃいません

◆出席報告

本日	75.0%	12名欠席
前回訂正	93.75%	3名欠席

◆ラッキーナンバー=No.12 菊池俊樹君

◆ニコニコボックス=●加藤明博君・川村総一郎君=本日の例会は出席委員会の担当です。宜しくお願ひ致します。●藤森郁男君=82歳の誕生日を迎えて。●笠原正司君=結婚祝いのお花を頂きました。有難うございました。●菊池俊樹君=ラッキーナンバーに当たりました。

◆会長告知・加藤明博会長=先週の例会で3名の方にポールハリスフェロウのバッジをお渡ししましたが、私も以前頂いた際にどう考えてもこのバッジは付ける機会が無いと家の者に話したところ、メルカリで売ればと言われ、家の者が調べましたところ、何とメルカリにて2,000円で売られていました。皆さんはこの様なことはされない様にお願ひ致します。私も気が付けば今年で61歳となりました。幾らか歳を重ねたせいか、昔を振り返る事が多くなってきましたが、今は昔と比べると大変便利な時代となりました。しかしそれで人は本当に幸せなのでしょうか。パソコンのお蔭で家にまで仕事を持ち帰らなければならず、携帯電話、スマホにより一日中会社と繋がれ、更に交通機関の発達によりあり得ない場所へ単身赴任させられるような時代となりました。家電製品の発達、交通機関の発達とは、本来人の生活を穏やかにし人の心にゆとりをもたらす為のものだと思います。

鉛筆1本で喜びを感じ、それを最後まで使った子供が沢山いた国。コンビニなど無い時代に駄菓子屋のベンチに座り長居した事は、昭和に生まれた人なら誰もが経験したのではないのでしょうか。

世の中が便利になったのでは無く、世の中が楽になってしまい、人とのコミュニケーションが希薄となった結果、いじめや虐待など起きるような社会になったと思うのは私だけではないと思います。布半の若い社員が友人10名に手書きで年賀状を送ったところ、全員から元旦に一斉にメールで新年の挨拶がきたと話していたこと思い出しました。今の若い方は恐らく公衆電話のかけ方すら解らないのではないかと思います。

また、長野県内でも北陸新幹線が開通し富山や、金沢などに短時間で行けるようになり、これまた大変便利になりました。今の世の中は時間をお金で買う時代となっていますが、何か違う旅の楽しみ方があるのではないかと思います。外の景色を楽しみながら地場産の弁当を広げ、各駅ごとに乗り降りする乗客を眺めたり、日頃忙しくて読めない本などを持ち込み、じっくりと読書を楽しむのも旅の楽しみの一つではないかと思います。世の中が便利と引き換えに、忘れがちとなっている人情や機微、情緒などを私たちは、次世代を担う若い人に正確に継承しなければならないと思います。「温故知新」よく聞く言葉です。古きを訪ね新しきを知る。誰もが知っている言葉だと

思いますが、本当はもっと深い意味があるのではないかと思います。古い物を大切にしなければ、新しい物は一つ生まれません。また、過去を振り返り現在の有り方を正す、或いは見直すことがこれからの時代に必要となるのではないかと思います。

◆幹事報告・川村総一郎幹事=①本日の例会はクラブ協議会出席率向上・表彰です。出席委員会の皆様宜しくお願ひ致します。②先週の例会時に照会いたしました新会員候補の中部電力パワーグリッド(株)諏訪営業所の小林正史所長ですが、一週間会員の皆様からの異議がございませんでしたので入会の手続きを開始いたします。宜しくお願ひ致します。③例会終了後臨時理事会を開催します。

◆委員会報告●飯田兼光君=前年度事業につき65周年の周年史CD化を進めております。現在CDに添付します差込用の原稿の構成をしておりますが、一部データに不備があり修正を行っております。皆さんのお手元に届くまでもう暫くお時間頂くこととなりますが容赦頂きたくお願ひ申し上げます。

●米山奨学会委員長・小口武男君=6月に公益財団法人ロータリー米山記念奨学会より33回目の米山功労クラブ感謝状を頂きました。

●デジタル化推進委員長・倉谷英行君=新年度になりましたのでスマートレイク様にてホームページのリニューアルを行っておりますので、もう暫くお待ち下さい。

◆セレモニー●米山功労者表彰=菊池俊樹君(1回目)



◆クラブ協議会=出席率向上・表彰●出席委員長・小針哲郎君=本日は皆勤年数1年目から53年目の方、合計45名の皆様を対象に表彰させて頂きます。なお、昨年度一昨年度はコロナ特別対応で全会員が皆勤となっております。

出席委員会として全メンバーが集まり出席率向上につき打合せを行いました。如何にロータリーへ出席頂くか、行かなければならないという気持ちになって頂くかを委員会の役割と考えました。ロータリーに参加するべきだということを明確に伝えていく必要があると思い、本日記念品贈呈の後にコメントを頂きたくお願ひ致します。

もう一点、欠席をする際の連絡を徹底し、欠席連絡率の向上を目指し欠席の連絡を簡単に出来る仕組みをデジタル化推進委員会と連動しながら考えていきたいと思っております。

皆勤者表彰1年：菊池俊樹君、倉谷英行君

同2年：宮坂直孝君、平林正光君、合田敦子君、善治直樹君

同3年：五味武嗣君、宮坂康弘君、小平直史君

同5年：加藤明博君、小針哲郎君

同6年：山田文雄君、飯田兼光君

同7年：小口泰幸君 同8年：早出由男君

同9年：北川和彦君、川村総一郎君

同12年：伊藤武利君 同13年：古屋了君

同17年：小口武男君、八幡一成君、玉本広人君

同27年：折井俊美君 同32年：藤森郁男君

同38年：森幸俊君 同39年：有賀昭彦君

同53年：三井章義君



●三井章義君=53年の皆勤で私自身が在籍してから53年となります。初めの頃は皆勤が目的ではなかったが、30代初めに色々な役を仰せつかりロータリーの仕事が大変忙しくなり毎回出席しては仕事をしていました。そんな状況で10年位皆勤し

た時に、これはもう少し続けた方がいいかなと思いました。今振り返ってみて皆様にお伝えしたいことは、ロータリーが好きだということです。ある先輩にロータリーが好きだと言ったら、好きではなく性に合っていると云えと言われました。ロータリーの考え方は自分自身のためになると感じております。例会に出席すると楽しい、私はガバナーとして他のクラブを見たけれども、諏訪ロータリークラブは素晴らしいと思います。居心地がいいのです。

皆勤賞のスピーチである方が言いました。諏訪ロータリークラブはいいな、どんなことをしても、どんなことを言っても褒めてくれる。会員の皆さんが褒めないまでも、みんなお互いをよく理解して温かく迎えてくれるということではないでしょうか。あまり意識をしない中で徐々に積み重なってきたものと思います。

ロータリーの神髄はBE A FRIEND、友達、世界的なロータリーの根本精神です。諏訪ロータリークラブの初代会長以来立派な先輩たちがこの根付かせてくれた賜物と思っています。

もう一つは健康、長期入院になると皆勤も難しくなります。それともう一つ、メーキャップ制度、休んだらメーキャップをすることで皆勤が続けられます。

何れにしてもこの諏訪ロータリークラブに出席して、皆さんにお会いして話をいっぱいして色々な知識を得て楽しく例会を過ごすことができる。そんな素晴らしいクラブですので、どうぞ皆さんこれからも出席を続けて下さい。

●有賀昭彦君=会報の加藤会長の挨拶に「ロータリーは友情を大切にしなければいけない」と記載されており、私もその通りと思いました。



私が入会した1981年には4人が入会致しましたが、今は藤森さんと私の2人だけです。その時にいたメンバー錚々たる方々で自分は小さくなりながら、何でこの厳しいロータリーに入会してしまったのだろうと思いながら年を重ねて参りました。歌にあります「我等の生業さまざまなれど」と異業種の皆さんが大勢いらっしゃる中で私は育てられたと思っています。

80歳を過ぎたのを機に、年賀状を失礼させて頂きますと案内させて頂きました。皆さんから年賀状を頂いても今は出しておりません。

最後に心に残る言葉として、礼記の「学びて然る後に足らざるを知る」があります。この連続で勉強をさせて頂いたと思っております。今回の39年皆勤はコロナに助けられたなと思っておりますが、三井さんの様にもうちょっとロータリーに出席しようという気持ちを持っておりますので、宜しくお願い致します。

●森幸俊君=私は1985年入会でちょうど38年となりました。三井さんがお話されました様に、38年間皆勤が続いたのは、多くの役員をやったということが大きな要素です。1993年に三井さんガバナーを務められた時に副幹事となり、その後幹事、会長、安川さんガバナー時代には地区幹事を務めました。



公にはできませんが、諏訪ロータリークラブには貯金制度というものがあり、それにも助けられました。

65周年座談会の際に話をさせて頂きましたが、入会以来35年間全ての地区大会に参加致しました。最初は愛知県と長野県が一緒に交互に開催されておりました。色々な思い出がありますが、コロナで3年前から地区大会も制限され毎回の出席が途切れましたが、自分でもよく出席したなと思っております。

ロータリーには3つの義務があります。クラブに出席すること、会費を納めること、ロータリーの友を読むこと。このことも理解して頂きたいと思っております。

先ほど出席委員長からどの様にすれば出席率が向上されるのかと話をされていましたが、私が入会したころはプログラム委員会が重要な役割を果たしており、出席委員会の皆さんと出席率の向上に関してよく話をしながら連携を図っていました。この様なことも参考にさせて頂ければと思います。

何はともあれ38年間の皆勤賞を頂き誠に有難うございました。

●藤森郁男君=皆勤は40年位かと思っておりましたが、32年でした。私の祖父が初代会長でもあり、ロータリー創立時の話ができるのは今や私しかおりませんので、一度まとめて話をしておかなくてはいけないかと、前から少し気になりだしました。



私は祖父と藤原さんのメッセンジャーボーイをやっておりましたので、細かい理屈の上のことはよく分かりませんが、ロータリーというのはこういうものかなというものの端っこをかじった様な記憶があります。

私はカナダとの付き合いが深く、カナダに行ってロータリーの会長や役員をされている方に招かれ、お味噌汁を頂いている中で何か話をしてくれとなりました。私は諏訪にはセイコーエプソンがあると伝えたところ、そんなはずはないと言われましたが、たまたまその場所にあった諏訪市のパンフレットを見せて嘘ではないということになりました。その後現地の皆さんから色々と教えて頂いたり、私はアイスクリームを作って配ったりしていると、それがロータリークラブの仕事となりました。あつという間に40年となり、あとは何年ここに来られるかということになろうと思っておりますが、皆さん引き続きお付き合いを宜しくお願い致します。



●玉本広人君=41歳で入会して17年となりました。入会当時は私の直ぐ上が古屋さん八幡さんで40代、その上は皆さん50代以上で10年間位私が一番下という状況が続きました。私のような仕事をしてい

ますと色々な業種の方と話をしたり知り合ったりする機会がなく、この会で諏訪を代表する皆様と普通に話ができるのが一番の楽しみで、例会休んだことは4・5回しかないと思っております。

ロータリーに入って一番感動したのは、既に退会されました小林工務店の小林さんがガバナー補佐をされていた時に、諏訪が主管でIMを実施した時です。当時入会1年目だった私が会場係の長をやることになりました。何をやったらよいのかも分からずでしたが、私の下に名前があった大会社の社長さんが看板付け等の小間使いの様な仕事を率先してされていたことから、ロータリーは本当に凄いところだなと思い、それから一生懸命ロータリーに出席するようになりました。

色々な方と色々な形で普通にお付き合いさせて頂き、色々勉強させて頂きました。先日の65周年の様に大きな会がありますと、みんなで苦労しながら作り上げていく喜びもありますし、そうした中で勉強させて頂いています。皆さん、特に若い方達はこれからも様々な経験をされると思っておりますので、是非楽しく参加して頂ければと思います。

◆今後の例会日程

7/22(金)	準法定休日
7/29(金)	納涼家族例会一中止
8/ 5(金)	クラブフォーラム一中止